



じんけんへいわしりょうかん
人権平和資料館だより

2023年(令和5年)1月

HUMAN RIGHTS & PEACE

だいごう
第277号

〒720-0061 福山市丸之内1-1-1

TEL 084-924-6789 FAX 084-924-6850

じんけんへいわ
人権と平和は

せいぎ
21世紀のキーワード

jinken-heiwa-shiryokan@city.fukuyama.hiroshima.jp

せんじたいせい がくとどういん 戦時体制のなかの学徒動員

きかん
期間 1月15日(日)~3月26日(日)



とうきょうちほうさんぎょうほうこくれんごうかい
東京地方産業報国連合会のポスター

ふくやまこくじんじゃしきちせいちさぎょう
福山護国神社敷地整地作業に
どういん えいしんこうぎょうがっこうせいと
動員される 盈進工業学校生徒

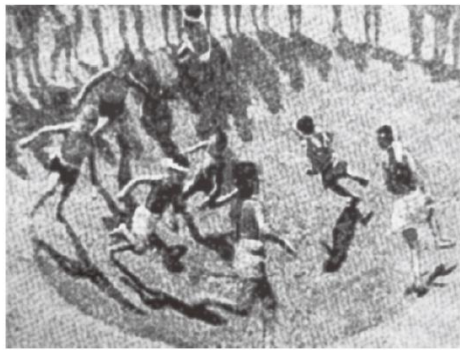
1941年(昭和16年)12月、日本軍の真珠湾攻撃により太平洋戦争が勃発すると、都市の工場からも20~30歳代の中堅労働者が戦場へ狩り出され、労働力不足がいつそう深刻になりました。そこで政府は、「国民勤労報国協力令」を公布し、男子14~40歳、女子14~25歳(未婚女子)の、年間30日以内の勤労奉仕を義務化しました。しかし、戦争の長期化は、若い人的資源を大量に消耗していきま

うらやま-つづ
裏面に続く

した。1944年（昭和19年）8月からは、12歳以上の児童を含む「根こそぎ動員」が実施され、約300万人の子ども・女性が動員されました。子どもたちは学校ごとに、勤労報国隊や女子挺身隊に編成され懸命に働きましたが、みな未熟練労働者ばかりであり、それに資材不足も相まって、「生産の飛躍的増大」には程遠いものでした。子どもや女性を動員せざるを得なかった太平洋戦争を、子どもたちの姿を通して考えます。

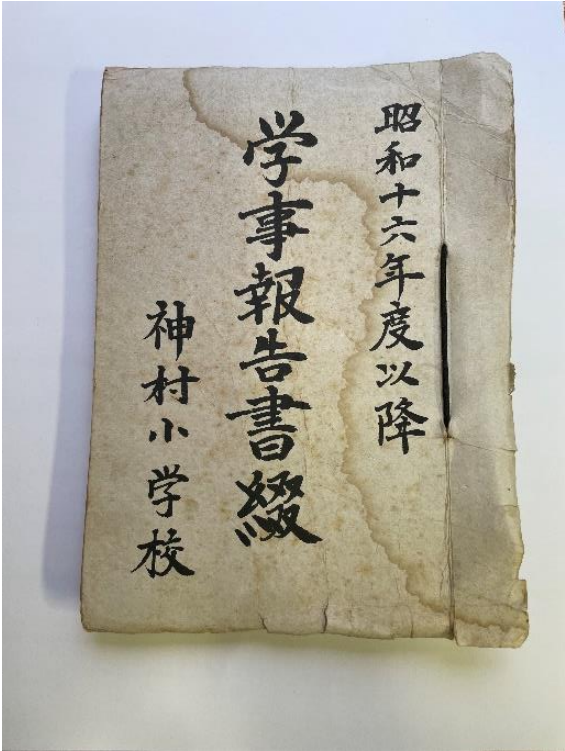


フープ1/4の模型
株式会社 小川長春館所蔵



真鍋国民学校の円錐壕運動実践
[出典/朝日新聞(1944年8月7日):制空道場に“旋回壕”。2面。]

円錐壕
運動場に穴を掘り航空教練を行う。



神村小学校の1945年（昭和20年）の学事報告書には、戦時体制特別措置法要綱により、円錐壕4個を掘り神村教育会よりフープ（操転器）4台を購入してもらい、航空機の操縦感覚を訓練したとの記述がある。

映画会：「ラストゲーム～最後の早慶戦～」
日時：1月29日（日）
① 10:00～12:30
② 13:30～16:00
場所：福山市人権平和資料館
入場無料

講演会：「呉海軍工廠学徒動員」
日時：2月26日（日） 13:30～
講師：元広島市立大学学長
藤本 黎時 さん
場所：福山市人権平和資料館
入場無料